

7 みんなに知ってほしい！ 学校図書館を知ってもらう取組み

本の貸出・返却
だけじゃない！
学校図書館のいろいろ



◇職員に「学校図書館」について知ってもらうための取組みを紹介します

■校内研を活用した取組み（学校司書 山崎尚子さん）

■校内研で職員に説明をする（学校司書 山崎尚子さん）

図書館教育の充実

～学校図書館に出来ること～



わたしは、年度初めの校内研において、図書館について説明をする時間を設けてもらい、図書館の活動内容や、司書としてお手伝いできることについて、くわしく説明をしました。

山崎さん作成のプレゼン資料



所要時間は、ブックトーク
込みの 50 分間です

魅力的な図書館って何だろう？

児童・生徒が足を運びたくなる
何かが必要！

知のセンター

心の居場所

まず、学校図書館の役割についてお話ししました。

読書センター・学習センター・情報センターとしての機能や、図書資料のレファレンスや取り寄せ等のサービスを行うことなどをお話ししました。

知のセンター

『読書センター』としての機能

○学校図書館は、児童生徒の読書力と学習に対する興味・関心を呼び起こす読書指導の場である。

○すべての子どもたちに本を読む経験、読書に親しむきっかけを与える。

○児童生徒が自由に好きな本を選び、静かに読む場所を提供するとともに様々な本を紹介して読書の楽しさを伝える。

『学習・情報センター』としての機能

○学校図書館は、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに情報の収集・選択・活動能力を育成して教育課程の展開に寄与する。

○授業で学んだことを確かめ、広げ、深めるための資料を選書し自分の考えをまとめて発表するなど、児童生徒の主体的な学習活動を支援する。

○利用指導を通し情報の探し方・資料の使い方を教える。

○児童生徒が学習に使用する資料や所蔵品を適切に管理する。

『教員へのサポート』機能

○学校図書館は、「学校図書館法」に位置づけられているように教員のために図書資料の収集・整理・保存・共有を行う施設でもある。図書資料のレファレンスや取り寄せ等のサービスといった教員へのサポート機能も本来担うべき重要な役割である。

心の居場所

学校図書館は、教室内の固定された人間関係から離れ、児童生徒が自分だけの時間を過ごすことができる場所であるとともに、異学年の生徒との関わりを持つことができる場所でもある。気持ちをリセットしたいとき、心を落ち着けたい時など児童生徒の心の居場所としての機能も果たしていかなければならない。

「心の居場所」としての機能についても説明しました。

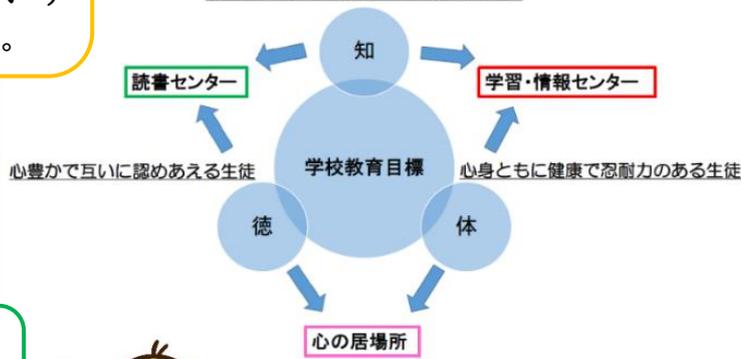
次に、所属校の学校教育目標を示して、図書館の機能との関わりについて話します。そうすることで、学校図書館が、学校の教育活動に大きく寄与する施設だということを知ってもらえると思っています。



ていねいに説明してもらえると、図書館と連携してできることが、いろいろと見えてきますね！



向上心を持ち、自ら学びともに学ぶ生徒



図書館、こんな事ができます！



- 1 授業や行事などで資料が必要なとき、資料を揃えます。テーマと内容を司書に教えてください。公共図書館や市内の学校図書館から借りることもできます。まとめて資料を教室に貸し出すことも可能です！
- 2 コーナーを作ります！
授業に関連した書籍のコーナーをつくります。要望があれば資料リストの作成も行います！
- 3 生徒に紹介した本があれば是非ご連絡ください。図書館で提供できるように準備します。先生方に紹介された本は、生徒の関心がとても大きいです！
- 4 司書が読み聞かせやブックトークを行います！
授業の導入などで関連資料の紹介が必要な時は、ブックトークを行います。所要時間を言って頂ければ、その時間内で紹介します。図書にも、こちらから伺います！

それから、学校図書館の機能に基づいて、学校図書館にできることについて具体的にお話します。

教科等との連携

本を語る

ブックトーク

- ・テーマがある
- ・つながりがある

本の紹介

- ・テーマがない
- ・つながりがない

ブックトークとは？

1. 特定の集団対象者に向けて
2. ひとつのテーマの下に集めた本を
3. それぞれ関連付けて紹介する活動



そして、最後に、先生方にブックトークを実演して終わります。



実演するブックトークは、子どもたち向けのものを見てもらいます。そうすることによって、授業や学年朝会に呼ばれてブックトークをする機会ができます。

例えば、英語の授業でのアンネフランクに関する単元のときは、「アンネの生きた時代背景」をテーマにブックトークを行いました。また、いじめや人間関係のトラブルを抱えた学年の朝会では、「友だち」をテーマに行いました。司書は、本を通して問題解決を図るお手伝いができるということを理解してもらえらるよい機会になったと思います。



準備期間はどれくらいなんですか？

だいたい！週間～数日間ですが、依頼があればできるだけ断らずやるようにしましたよ。中学校に勤めていた時は、小学6年生を対象にブックトークをしたこともありますよ。

